

事務事業名(細目)	国際交流協会支援事業	担当部課	市民文化部 和田山地域振興課
予算コード	02 - 01 - 01 - 005 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 一般管理費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増進》	事業開始年度	評価区分	計画
6	多文化交流の推進	H 23	事業種別	1. ソフト事業
事業の目的	「わだやま国際文化交流協会」の事務及び事業の円滑な運営を支援し、朝来市民が国際交流に関する見識を深め、市民等への国際理解教育の進展、友好的な国際文化交流の継続・推進につなげる。			
事業の実施内容等	「わだやま国際文化交流協会」の運営のため、和田山地域振興課内に嘱託職員1名を配置する。 「わだやま国際文化交流協会」が実施する下記事業及び交流活動を支援する。 ○5月28日 定期総会の開催 ○9月28日～10月28日 日本語研修生の招聘 「中国に正しい日本語を贈る運動」の一環として、内モン自治区から2名の留学生及び教師1名を受け入れる。 ○3月23日～3月28日 内モン自治区へ教育視察団の派遣 8名 日本語研修生の選考会及び過去来日の日本語研修生、教師との面談の実施。 ○通年 機関誌フェイスナの発行(12月、3月) ○通年 正副会長会の開催(4月、8月、12月) ○通年 理事会の開催(5月)			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
7. 賃金	453,250	国際交流専門員業務嘱託職員賃金	271,564
合計	453,250		271,564
財源内訳			
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	453,250		271,564
合計	453,250		271,564
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
7. 賃金	国際交流専門員業務嘱託職員賃金	433,000	489,500	271,564	453,250
事業費計		433,000	489,500	271,564	453,250
【4】正規職員人件費		1,483,000	1,953,000	3,131,000	3,691,000
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		1,916,000	2,442,500	3,402,564	4,144,250
財源内訳					
特 定 財 源					
【7】国庫支出金				0	0
【8】県支出金				0	0
【9】地方債				0	0
【10】その他				0	0
【11】一般財源		1,916,000	2,442,500	3,402,564	4,144,250
【12】合 計		1,916,000	2,442,500	3,402,564	4,144,250
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<変化の理由>					
【2】事業の成果を表す数値					
招聘した日本語研修生等が訪問した学校の児童・生徒数	人	2,075	2,247	0	1,505
<変化の理由>					
プログラム内容により、年度ごとに差が生じている。平成26年度は、中国側の事情により、訪問が取りやめとなった。平成27年度は、学校以外の訪問先が増えたため、日間的に訪問学校数が減少した。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
招聘した日本語研修生等が訪問した学校の児童・生徒数	923	1,087		2,754
<変化の理由及びそれへの対応策>				
平成26年度は、中国側の事情により、訪問が取りやめとなった。平成27年度は、プログラム内容の変更により、学校以外の訪問先が増え、日間的に訪問学校数が減少したことに加え、対象事業数の関係で人件費の比率が高まったことにより、ひとり当たりの金額が上昇した。 (平成28年度からは嘱託職員の賃金は廃止されている。)				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	受入学校の感想から、児童・生徒に異文化に触れる貴重な機会を提供しており、国際理解に貢献していることがみとれる。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	市町村合併に伴い、旧町単位の国際交流協会の組織の一本化等、組織の見直しがされている。
[3]代替サービスの有無	年間500時間分の賃金であり、国際交流協会にかかる組織体制の見直し、協力体制による代替が可能。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	国際交流協会の組織体制の検討、近隣市の状況を考慮し、平成28年度から、協会事務にかかる嘱託職員の賃金は廃止されている。 平成27年度より、わだやま国際文化交流協会が行う事業のうち、シャヘイラムバレー中学校からのジュニア使節団受入は教育委員会、オレゴンサマースクール開設は、秘書広報課内、連合国際交流協会が担当することになったこと。近隣市において、旧町単位の協会運営にかかる嘱託職員の賃金を助成していないことによる。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	1	拡充	平成28年度からは、事務補助を担う嘱託職員の配置がないため、予算を伴う事務事業としては廃止する(国際交流協会の活動支援自体は正規職員が兼務で対応)。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	1	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	1		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	二次評価のとおりとする。
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	森はな文学普及事業	担当部課	市民文化部 和田山地域振興課
予算コード	02 - 01 - 06 - 210 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 企画費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く(社会増促進)	事業開始年度	評価区分	計画
1	朝来ブランドの創造	H 23	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	朝来市のイメージを向上させ市外から人を呼び込む仕掛けが求められています。そのような中、朝来市出身の児童文学作家、森はなは64歳の時、初出版の「じろはったん」で日本児童文学者協会新人賞を受賞。連映巻の新人と評価され80歳で亡くなるまで但馬を舞台に、人・自然・ふる里を慈しむ心に満ち溢れた多くの作品を発表しました。代表作「じろはったん」は児童文学のベストセラーで、その他の多くの作品も絵本となり、子育ての若者世代を中心にアピールできること、生き様が高齢者を元気づけることから、森はなを市内外に広くPRし朝来市の認知度、イメージ向上を図り、定住促進を推進します。また、文学者をテーマにしたシティプロモーションは、女性も参画しやすく、市民自らが担い手となる機運を高めます。			
事業の実施内容等	○森はなゆかりの3市(朝来市・加古川市・高砂市)連携事業 ・加古川市、高砂市に呼びかけ(財)地域創造連携プログラム助成金を活用し、女優、市原悦子さんによる「じろはったん」朗読会を3市で実施した。 「森はな先生からのメッセージ」 朝来市 7月25日(土)ジュビターホール(大蔵小学校4・5・6年 歌物語「じろはったん」披露) 入場者700人、アンケート回収355枚 高砂市 7月26日(日) 高砂市文化会館 入場者1,000人 加古川市 11月21日(土) 加古川市民会館 入場者1,600人 ○アウトリーチ事業 ・じろはったんの会による大型紙芝居をこども園等で実施した。 高砂市 7月1日、2日、8日、10日 8会場 延べ839人 加古川市 10月10日、28日 3会場 延べ200人 ○ドラマ化依頼 NHK大阪放送局訪問ほか ○リーフレット配布 ・加古川市おどっこ祭り、じろはったんの会自主公演、森はな胸像除幕式、森はな顕彰会加古川大会ほか ○森はな便り発行(10号、11号)			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
8.報償費	269,841	大型紙芝居公演謝礼、公演時スタッフ謝礼ほか	154,465	
9.旅費	69,120	大型紙芝居公演、NHK訪問ほか	51,330	
11.需用費	662,822	ポスター・チラシ等印刷、啓発用マグネット、燃料ほか	1,531,078	
12.役務費	41,342	市原悦子公演チラシ新聞折込	54,988	
13.委託料	1,634,679	市原悦子公演委託料、駐車場整理業務委託料	994,710	
14.使用料及び賃借料	58,752	出演者送迎バス借上げ、公演時機材借上げ		
合計	2,736,556		2,786,571	
財源内訳	特定財源	国庫支出金		
	地方債	県支出金		
	その他	1,702,000	地域の文化・芸術活動助成事業助成金・入場料	4,498
	一般財源	1,034,556		2,782,073
合計	2,736,556		2,786,571	
国庫支出金を除いた比率	100.00%			

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	公演謝礼、公演時スタッフ謝礼ほか	3,800	4,800	154,465	269,841
9.旅費	アウトリーチ大型紙芝居公演、NHK訪問ほか	91,830	133,300	51,330	69,120
11.需用費	ポスター・チラシ印刷、燃料ほか	277,543	216,690	1,531,078	662,822
12.役務費	公演チラシ新聞折込	198,345		54,988	41,342
13.委託料	公演委託料、駐車場整理業務委託料	1,207,500	840,000	994,710	1,634,679
14.使用料及び賃借料	公演出演者送迎バス借上げ、公演時機材借上げ	10,000	93,800		58,752
15.工事費	生誕の地看板、ウォークコース案内看板	1,192,600			
事業費計		2,981,618	1,288,590	2,786,571	2,736,556
[4]正規職員人件費		5,229,000	5,463,000	5,463,000	3,780,000
[5]臨時職員人件費		525,000	536,000	536,000	
[6]総合計		8,735,618	7,287,590	8,785,571	6,526,556
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			4,498	1,702,000
	[11]一般財源	8,735,618	7,287,590	8,781,073	4,824,556
	[12]合 計	8,735,618	7,287,590	8,785,571	6,526,556
	[13]国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
PRイベント回数	回	2	4	13	11

<変化の理由>  
 平成24・25年度は、調査・資料収集業務が中心で、イベント回数は少ない。平成26・27年度は、じろはったんの会による大型紙芝居の活動が活発なこともあり、回数が増加した。

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)	人	1,400	350	1,800	1,740

<変化の理由>  
 平成25年度は、1回あたりの参加者数が多くなる展示イベントや、ホールを活用したイベントを開催していないことから、参加者数は少ない。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)	6,240	20,822	4,881	3,751

<変化の理由及びそれへの対応策>  
 平成25年度は、資料収集業務が中心で、イベント回数が少ないことから、ひとりあたりの単価が高くなっている。

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	森はな作品は、「人を慈しむ心、自然を慈しむ心、ふる里を慈しむ心」に満ち溢れており、朝来市のイメージアップに直結することから、事業のアンケートでも、好意的なコメントが多い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	近隣市町では、山田鳳太郎、植村直己、斎藤隆夫など著名人を顕彰し、作品等を紹介する記念館が建設されている。
[3]代替サービスの有無	森はなは、但馬管内の小学生向け副読本「但馬の偉人伝」に紹介されており、ふるさと愛の醸成を図る人材として代替はない。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	朝来市のイメージ向上、地域おこしに必要性が高いことから継続する。ゆかりの3市で顕彰の機運が盛り上がっていること、作品のイメージがソフトで、子育て世代、特に女性にアピールできること、代表作「じろはったん」は全国でも読み継がれ、多くの作品が絵本になっておりコストをかせずにPRできること、大蔵地域自治協議会や大型紙芝居「じろはったんの会」など、市民が自ら朝来市をPRする活動が活発なこと、女性の参画が見込めることなどから、財政難な朝来市の地域おこしの手法として効果的である。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	これまでから地道な普及活動を実施または支援してきており、その継続性は評価できるが、今一步広がり感に欠ける印象もあり、これまでどおりの取り組みで良いか、検証を求めたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	現在の事業を見直しながら森はな自身のPR(人となりのアピール)も必要である。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	地域活力応援事業	担当部課	市民文化部 和山地域振興課
予算コード	02 - 01 - 06 - 214 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 企画費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	市民自治のまちづくりに向けた地域協働体制の確立(実現の方策)	事業開始年度	評価区分	計画
32	地域づくり人材・組織の育成支援	H 26	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民の自発的・主体的な活動の支援によりにぎわい創造及び活性化を促進します。あわせて、人材や団体を育成し、市民一人ひとりが主体的に地域づくりの担い手として参画し、地域社会を支えていけるよう支援します。			
事業の実施内容等	企業、組合、団体に属していない実行委員会、市民団体等の団体が行う地域おこし事業や朝来市のPRを目的とする活動にかかる経費について、補助対象経費の70%以内を上限に助成し、活動を支援 平成27年度助成団体 2団体(別途1団体、台風接近のためイベント中止した。)			

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
		19.負担金補助及び交付金	255,000	地域活力応援事業補助金
	合計	255,000		521,000
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債 その他			
	一般財源	255,000		521,000
	合計	255,000		521,000
	国庫支出金を除いた比率			100.00%

地域活力応援事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
19.負担金補助及び交付金	地域活力応援事業補助金	0	0	521,000	255,000
事業費計		0	0	521,000	255,000
【4】正規職員人件費				1,376,000	1,809,000
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		0	0	1,897,000	2,064,000
財源内訳	特 定 財 源				
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	0	0	1,897,000	2,064,000
【12】合 計		0	0	1,897,000	2,064,000
【13】国庫支出金を除いた比率		#DIV/0!	#DIV/0!	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
イベント開催回数	回			55	15
<変化の理由> 補助団体が減少したこと。団体の活動内容に伴い開催回数が減少した。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)	人			16,300	780
<変化の理由> 補助団体が減少したこと。団体の活動内容の違いにより差が大きくなっている。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)			116	2,646
<変化の理由及びそれへの対応策> 平成26年度は、祭り関係の補助により、参加人数が多くなり、単価が下がっている。平成27年度は、同じ内容のイベントへの補助はできないことから、補助団体が減少し、小規模なイベントを実施する団体に助成したことから、単価がアップした。 要綱の見直しと、制度PRにより、活用する団体の増加を図る。				

地域活力応援事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	まちづくりの熱意をもちながら、資金面でイベント開催を躊躇する団体が存在する。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	市独自の制度であり、比較できない。
[3]代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	拡充	財政難の中、市民の自発的・主体的な活動を支援することで、にぎわいの創出、活性化が図れ、あわせて、人材、団体の育成をはかり、まちづくりの参画を促すため、継続実施する。従来のまちづくり団体の高齢化により、新たな人材づくりが急務となっている。 監査委員から、活用しやすい助成制度づくりの指摘もあり、次年度に向け、要綱を改正するとともに、制度PRにより、団体からの問い合わせや、イベント開催意欲が高まっており、低コストで効果が期待できる。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	導入からまだ日が浅い市単独の事業であるが、監査委員からの指摘も含め、活用しやすい制度となるよう、改善を図っていく必要がある。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	○ 改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	二次評価のとおりとする。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	香城市との交流事業	担当部課	市民文化部 和田山地域振興課
予算コード	02 - 01 - 06 - 216 - 01		
※ 総務費	項: 総務管理費	目: 企画費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く(社会増促進)		事業開始年度	評価区分	計画
	6	多文化交流の推進	H 20	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	<p>友好都市提携を締結した長崎県香城市との市民が主体となった多様な歴史、文化、教育、経済・産業交流を通して、自らの歴史や文化を再認識するとともに、交流活動により、人づくりを図り、地域の活性化を推進します。</p> <p>また、両市の交流のきっかけとなった元文一揆に端を発する史実に基づく和田山町野村出身の小山弥兵衛とその孫娘、心録尼の心の交流を描く物語は、家族愛という普遍的テーマが根底にあり、全国に広くPRすることで、朝来市の知名度、イメージアップ、さらには、ふるさと愛の醸成を図り、移住、定住促進を推進します。</p>				
事業の実施内容等	<p>○6月27日(土) 朝来市・香城市友好都市提携の締結 香城市招聘者に心録尼のふるさとを案内。 ○8月1日(土) 香城市民劇団「一支国座」招聘 「小山弥兵衛と心録尼物語」 BELIVE ME ー自分を信じてー」公演 ○10月24日～25日 「但馬・食文化まつり」 香城市参加者約10名が2日間の同まつりに参加・出演。特産品販売・交流会等開催 ○11月14日～15日 「香城市虹色商工祭り」 朝来市から朝来市特産品販売で参加 香城市招聘により、よさこい踊りを披露 ○12月7日 道の駅・但馬のまほろばに香城市ブース開設を支援(交流のPR) ○交流活動のPR 両市のケーブルテレビで、一支国座公演を紹介し、香城市との交流の由来、交流の意義のほか、両市の交流活動等について紹介し、従来の旧和田山町と旧芦部町の交流から、朝来市と香城市の交流とすべく、市民等の関心度合いを高めた。 ○広域PR 一支国座公演のポスター、チラシに物語を紹介、広報の特集、マスコミ紹介等により、「小山弥兵衛と心録尼の物語」が広く市内外に認知されるきっかけとなった。</p>				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	329,920	市民劇団招聘謝礼、ステージ・音響スタッフ謝礼ほか	14,625
9.旅費	1,113,450	市民劇団招聘旅費、商工祭参加ほか	617,680
11.需用費	255,951	パネル、ポスター・チラシ・チケット印刷ほか	45,876
12.役務費	56,512	公演チラシ折込、公演道具運搬ほか	
13.委託料	11,516	公演時駐車場整理代	
14.使用料及び賃借料	473,860	訪問バス借上げ、公演時施設使用料ほか	355,760
合計	2,241,209		1,033,941
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	
	一般財源	2,241,209	1,033,941
	合計	2,241,209	1,033,941
	国庫支出金を除いた比率	100.00%	

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	市民劇団招聘、ステージ・音響スタッフ謝礼ほか	291,340	13,970	14,625	329,920
9.旅費	市民劇団招聘旅費、商工祭参加ほか	308,430	363,260	617,680	1,113,450
11.需用費	パネル、ポスター・チラシ・チケット印刷ほか		99,750	45,876	255,951
12.役務費	公演チラシ折込、公演道具運搬ほか				56,512
13.委託料	公演時駐車場整理代				11,516
14.使用料及び賃借料	訪問バス借上げ、公演時施設使用料ほか		259,950	355,760	473,860
事業費計		599,770	736,930	1,033,941	2,241,209
【4】正規職員人件費		3,545,000	3,712,000	3,566,000	3,565,000
【5】臨時職員人件費		132,000	134,000		
【6】総合計		4,276,770	4,582,930	4,599,941	5,806,209
財源内訳	特 定 財 源			0	0
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	4,276,770	4,582,930	4,599,941	5,806,209
【12】合計	4,276,770	4,582,930	4,599,941	5,806,209	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
交流イベント回数	回	2	2	2	3

＜変化の理由＞  
両市、相互のまつり(但馬・食文化まつり・香城市虹色商工祭)で交流を図っている。平成27年度は、友好都市提携にあわせ、香城市から市民劇団を招へし公演を開催したことから、1回増加している。

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)	人	39,000	38,000	47,000	47,650

＜変化の理由＞  
天候等による祭りの入場者数の差による。平成27年度は、香城市のまつりが市内全域を対象とした祭りとなったこと、文化会館で市民劇団の公演を開催したことにより増加した。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
イベント参加者数(延べ)	110	121	98	122

＜変化の理由及びそれへの対応策＞  
単位あたりの金額は、概ね同額で推移している。

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	海にかこまれた島と起伏にどんだ山並み、海の幸と山の幸、おもてなしの心は、阿市の市民を魅了し、リピーターも増えている。史実に基づく普遍的なテーマが交流の根底にあり、事業に市民の協力が見込める。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	市民が主体となった地域間交流を促進するため、活動団体、市民の交流に対する助成制度が創設されている。
[3]代替サービスの有無	交流のきっかけとなった物語には、家族愛という普遍的なテーマがあり、風土・文化の多様性という点からも代替えは無い。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	補充	異なる風土・文化をもつ岩手市との交流を通して、朝来市の魅力を発信し、イメージアップを図れること、市民が主体となった地域間交流により地域活性化が図れることから継続する。交流のきっかけとなった史実に基づく「小山弥兵衛と心猿尼の物語」は、家族愛という普遍的なテーマを扱い、まちへの愛着を醸成し、人を呼び込むよう朝来市創生総合戦略の基本理念の体現に役立つものと考えます。朝来市の貴重な資源としてとらえ、市全体でPRすることで、交流人口の増加のみならず、定住・移住人口の増加にも寄与すると考えます。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 O 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	補充	史実をきっかけに始まった市民同士の交流を両市が互いに支援し、昨年度には「友好都市提携」の締結をみたところであるが、本来的には行政が前面に出るよりも、市民レベルの強い絆で結ばれた交流が一層深まるよう、継続しつつも見直しの視点を持って取り組んでほしい。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
補充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
補充	二次評価のとおりとする。
継続実施	
O 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	文化会館自主文化事業	担当部課	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 05 - 001 - 01		
※: 教育費	項: 社会教育費	目: 文化会館費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
14	豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	<p>「市民が主役の会館」を運営基本方針の柱に掲げ、それぞれのホールの特性を活かしながら運営し、市民の芸術・文化の振興と心豊かなまちづくりに寄与するとともに、朝来市の存在を全国に示していくこと。 その重点基本方針は以下の6点である。 ①市民の参画・協働による会館運営を行う。 ②市民に、優れた舞台芸術を鑑賞・学習する機会を提供する。 ③豊かなコミュニティ形成のできる場を提供する。 ④子どもたちが豊かな感性を磨く場を提供する。 ⑤将来の芸術・文化の発展に必要な人材の育成を図る。 ⑥朝来市のエネルギーを発信できるホール運営をめざす。</p>			
事業の実施内容等	<p>○以下の事業について、文化会館運営委員会に諮り、各文化会館の特性を活かした自主文化事業を実施。 (鑑賞型事業・アウトリーチ事業・市民普及型事業・市民参加型事業等の実施) ①兵庫県警察音楽隊ふれあいタウンコンサート(吹奏楽) ②影絵劇「宝島」(影絵) ③Giselle4 Dance Planet(J-POP) ④飯面雅子サンドアートファンタジア2015(砂絵芸術) ⑤ペペーカーで行く、クラシックコンサート(クラシック) ⑥第11回ASAGO国際音楽祭2015(クラシック ASAGO国際音楽祭実行委員会主催) ⑦第24回ジュピターホール歌謡祭(市民参加・ジュピターホール振興協会主催) ⑧メインホールキネマ(映画 志村喬生誕110周年実行委員会と共同開催) ⑨月亭八方一門会(落語) ⑩県民芸術劇場「ライツ室内管弦楽団特別演奏会」(クラシック) ⑪つるの剛士アコースティックコンサート(J-POP) ⑫ひょうごふれあいの祭典 兵庫県文楽祭(アマチュア クラシック) 自主事業外の事業(市一般会計からの支出あり) NHKのど自慢(NHK神戸放送局) 第2回朝来市合唱祭(朝来市コーラス連盟)</p>			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	955,515	ボランティアスタッフ費用、現地オペレーター費用	510,284
9.旅費	186,760	自主事業出演者旅費(直接払い分)	0
11.需用費	2,980,010	看板作成、ポスター・チラシ・プログラム・チケット等印刷費	2,275,989
12.役員費	647,706	ピアノ調律料、折込・新聞広告料	747,517
13.委託料	16,006,211	出演者委託料、駐車場整理委託料、入場券販売委託料	23,996,357
14.使用料及び賃借料	478,221	著作権使用料、映画フィルム借上料	405,121
19.負担金補助及び交付金	1,500,000	ジュピターホール歌謡祭補助金	1,300,000
合計	22,754,423		29,235,268
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	9,301,200
一般財源	13,453,223		17,531,023
合計	22,754,423		29,235,268
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	ボランティアスタッフ費用、現地オペレーター費用	781,350	445,600	510,284	955,515
9.旅費	自主事業出演者旅費(直接払い分)	0	0	0	186,760
11.需用費	看板作成、ポスター等印刷費	3,209,204	2,566,966	2,275,989	2,980,010
12.役員費	ピアノ調律料、折込・新聞広告料	1,157,797	853,441	747,517	647,706
13.委託料	出演者委託料、駐車場整理委託料、入場券販売委託料	30,065,372	22,836,738	23,996,357	16,006,211
14.使用料及び賃借料	著作権使用料、映画フィルム借上料	753,089	149,596	405,121	478,221
19.負担金補助及び交付金	ジュピターホール歌謡祭補助金	1,385,000	1,491,000	1,300,000	1,500,000
事業費計		37,351,812	28,143,341	29,235,268	22,754,423
【4】正規職員人件費		5,280,000	5,448,000	5,434,000	5,796,000
【5】臨時職員人件費		2,494,000	2,543,000	2,142,000	1,739,000
【6】総合計		45,125,812	36,134,341	36,811,268	30,289,423
財源内訳	特 定 財 源				
	【7】国庫支出金	0	0	0	0
	【8】県支出金	0	0	0	0
	【9】地方債	0	0	0	0
	【10】その他	14,447,370	22,491,306	11,704,245	9,301,200
	【11】一般財源	30,678,442	13,643,035	25,107,023	20,988,223
	【12】合 計	45,125,812	36,134,341	36,811,268	30,289,423
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
自主文化事業開催回数	回	17	11	10	11
<p>&lt;変化の理由&gt; 入場率の低水準による公演本数の減 ※過大な入場者数見込みをたてることができないため、事業費もあわせて減らざるを得ない。</p>					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
入場者数		人	5,147	3,916	3,800
利用した市民の割合	%	統計なし	32.2	30.9	
<p>&lt;変化の理由&gt; 市制10周年記念事業で全体の入場者数は増加しているが、通常の入場率については横ばいであり、大きな変化は見られない。入場者数は会館のキャパ・催し内容にもより、また人口減少の影響も少なからずあると考えられる。</p>					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
入場者数	8,767	9,227	9,687	5,211
<p>&lt;変化の理由及びそれへの対応策&gt; 25～26年度では、入場者数は大きく変わらなものの、27年度は事業費が増ったこと及び市制10周年記念事業により入場者数が増加したことにより一人当たりの単価は少なくなったが、無料公演として開催した「NHKのど自慢」「ひょうごふれあいの祭典」での入場者が多かったための数値と考える。今後も県民芸術劇場や空くじ公演などの補助メニューを活用しながら多くの公演を実施していきたい。</p>				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	J-POPコンサートを筆頭に伝統芸能(歌舞伎など)、大編成クラシックなど大きな金額となりやすいものが人気となっている。毎公演時にアンケートをとり集計している。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	兵庫県は他府県に比べ、文化会館が特に多く、同様の公演を商團が振るものは行えないため、比較し難いが、徐々に各ホールで連携して公演料を安くしていくなど話し合いの場もある。たつの市が突出して高額公演を実施されているイメージがあるが、他は特に大きな差はないと思われる。
[3]代替サービスの有無	貸館で企業等による歌謡コンサート等催しが実施されるが、対象者が限定され、一般向けとは言えず、代替サービスとしては成り立たないことが多い。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続的に行っていく必要がある。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	ホールの役割として、市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担う事業であり、継続して実施する必要がある。すべての市民が対象であるが、一度に全てを実施することが不可能であり、その年毎に選別した事業展開が必要となる。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	二次評価のとおりとする。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	文化会館運営管理事業	担当課係	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 05 - 100 - 01		
款: 教育費	項: 社会教育費	目: 文化会館費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
14	豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	「市民が主役の会館」を運営基本方針の柱に掲げ、それぞれのホールの特性を活かしながら運営し、市民の芸術・文化の振興と心豊かなまちづくりに寄与することを柱に、以下の推進を図る。 ①文化会館の円滑な運営を図るため、文化会館の運営に関する重要事項の調査、研究及び審議を行う。 ②文化会館で行われる事業に対して積極的に協力し、ステージオペレーター及び弦方の活動を通じ、地域文化の発展に寄与する目的で設置されている、ボランティアスタッフ組織の活動を支援する。 ③文化会館自主文化事業を開催する際に、子育て支援ルームを設置し、幼児・児童の託児室を開設し、子育て世代に事業を鑑賞しやすい環境づくりをする。 ④朝来市文化会館(メインホール、ささゆりホール、ジュビターホール)の日常的な維持管理を行うことにより、各施設・設備、機材について良好な状態で会館を使用できるようにする。 ⑤朝来市文化会館管理の公用車の日常的な維持管理を行い、安全運転・管理に努める。			
事業の実施内容等	①文化会館運営委員会の開催…運営委員15名、年2回開催(自主文化事業・文化会館運営についての調査・研究・審議を実施した) ②ボランティアスタッフ活動支援…ボランティアスタッフ84名、年間延1589区分(J1538、M6、S41)の出役(ステージオペレーター、表方活動を通じ、地域の芸術文化の向上を図る)(技術研修・スタッフ養成講座を実施した) ③文化会館の運営…ジュビターホール・メインホール・ささゆりホールの3館(貸館事業の実施、市民団体・文化団体等の事業支援の実施、小中学校等の事業支援の実施等) ④子育て支援ルームの開設推進…自主文化事業実施時に開設運営を実施した(幼児・児童の託児所を開設運営し、子育て世代に参加できる環境づくりを実施) ⑤文化会館の維持管理…ジュビターホール・メインホール・ささゆりホールの3館(日常的維持管理、定期的維持管理、経年・老朽化による修繕等の実施) ⑥公用車の維持管理…普通乗用車1台、軽ワゴン車1台(日常的維持管理、燃料・修繕・車検等の実施、安全運転管理の実施)			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
1.報酬	117,000	文化会館運営委員(15名)報酬	166,500
7.賃金	33,276	子育て支援ルーム賃金	51,914
8.報償費	130,000	ボランティアスタッフ養成講座講師謝礼、日舞講師謝礼	100,000
9.旅費	40,460	職員出張旅費	84,990
11.需用費	19,160,391	消耗品、燃料費、修繕費、光熱水費等	18,862,219
12.役務費	13,009,788	電話・郵便代、設備保守点検料、広告料、建築物定期報告手数料 ほか	13,340,813
13.委託料	27,368,107	施設維持管理、清掃、整備、技術スタッフ委託料	27,240,154
14.使用料及び賃借料	2,073,071	事務機器等・土地使用料、放送受信料、電気使用料、下水使用料 ほか	2,768,388
18.備品購入費	59,205	インフォメーションスタンド、ラミネーター	42,098
19.負担金補助及び交付金	35,000	公立文化施設協議会負担金(全国公文協、県公文協)	44,000
27.公課費	6,600	自動車重量税(軽バン)	32,400
合計	62,032,898		62,733,476
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
	地方債	県支出金	
	その他	地方債	6,686,092
	一般財源	その他	55,346,806
合計	62,032,898	文化会館使用料・公益施設実費負担金8,574,744 文化会館維持基金設立金161,348	7,031,219
国庫支出金を除いた比率	100.0%		62,733,476

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
1.報酬	文化会館運営委員会 委員報酬	180,000	108,000	166,500	117,000
7.賃金	子育て支援ルーム賃金	23,880	19,978	51,914	33,276
8.報償費	ボランティアスタッフ養成講座講師謝礼、(H27)日舞講師謝礼	63,000	100,000	100,000	130,000
9.旅費	職員出張旅費	32,350	46,630	84,990	40,460
11.需用費	消耗品、燃料費、修繕費、光熱水費等	20,370,139	20,624,983	18,862,219	19,160,391
12.役務費	電話・郵便代、設備保守点検料、広告料、建築物定期報告手数料 ほか	13,123,126	12,819,146	13,340,813	13,009,788
13.委託料	施設維持管理、清掃、整備、技術スタッフ委託料	26,475,743	26,399,920	27,240,154	27,368,107
14.使用料及び賃借料	事務機器等・土地使用料、放送受信料、電気使用料、下水使用料 ほか	3,264,691	3,447,330	2,768,388	2,073,071
18.備品購入費	文化会館備品	560,500	439,370	42,098	59,205
19.負担金補助及び交付金	公立文化施設協議会負担金(全国公文協、県公文協)以外で補助加入	44,000	44,000	44,000	35,000
27.公課費	自動車重量税(軽・普通車 隔年)	24,600	6,600	32,400	6,600
事業費計		64,162,029	64,055,957	62,733,476	62,032,898
【4】正規職員人件費		5,618,000	5,216,000	7,190,000	6,546,000
【5】臨時職員人件費		4,989,000	5,060,000	5,220,000	5,660,000
【6】総合計		74,769,029	74,331,957	75,143,476	74,238,898
財源内訳	特【7】国庫支出金	0	0	0	0
	定【8】県支出金	0	0	0	0
	財【9】地方債	0	0	0	0
	源【10】その他	6,546,111	22,880,611	7,031,219	6,686,092
	【11】一般財源	68,219,918	51,451,346	68,112,257	67,552,806
	【12】合計	74,769,029	74,331,957	75,143,476	74,238,898
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
利用日数率(利用日数/会館日数)×3施設全体	%	75.1	71.5	74.4	71.6
<変化の理由> ジュビターホールの利用日数については増加しているものの、生野メインホール、あさご・ささゆりホールは減少傾向にあるため、利用日数率は前年度より下がっている。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
利用人数(3施設全体)	人	87426	86941	88019	94071
<変化の理由> ジュビターホールの大ホール・小ホールをはじめ利用率が上がり、利用者が増えたことから前年比16.8%の伸びとなった。生野メインホール並びにあさご・ささゆりホールは利用者が前年度に比べ減少している。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
利用人数(3施設全体)	855	855	854	789
<変化の理由及びそれへの対応策> 利用者の増により、文化会館利用者一人当たりの単価コストが減っている。今後も利用者・団体が増え、利用日数率・人数の上昇を図ってきたい(特に生野メインホール、あさご・ささゆりホール)施設利用に関する情報の提供や告知を推し進める。また、現状のサービスについて、他市町の動向も見ながら対応をしていきたい。				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	安全に使用できる施設管理。生野公民館がないため、(主に生野町の)文化協会加盟団体については生野メインホールを公民館的利用にて貸出している。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	貸館については概ね他市町とサービスの水準は変わらない。ジュビターホールについては他館に比べボランティアスタッフ数が充実しており、準備から本番・撤収まで、事業のスムーズな進行が出来ている。
[3]代替サービスの有無	貸館の程度によるが、市内3館、または会議など少人数であれば市内公民館での代替も可能である。民間の代替サービスはなし。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充	市民の豊かな心を育む文化芸術振興を担うために、継続的な取り組みが必要である。 都市部のように民間がサービスを展開するという状況にはない。芸術文化をとりまく環境の格差をなくすためにも、市がその活動拠点となる会館運営を行っていく必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充	民間での同様施設がないため、市が文化芸術振興を図るために、ホール運営を行う必要がある。 また、市内3施設の老朽化もあり、今後の運営に支障をきたす場合も有り得るため、リニューアル等を実施していく必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	全体の意見としては、継続実施1票、改善実施3票、抜本的見直し3票であった。 議論としては、施設の統廃合の検討、収益における受益者負担の割合の検討が必要というものがあつた。 また、利用日数率の低い施設については稼働率の向上へ向けた取組の検討というものがあつた。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	3施設のあり方、役割分担など公共施設の再配置を含めて検討する必要がある。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	文化会館施設等整備事業	担当部課	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 05 - 300 - 01		
款: 教育費	項: 社会教育費	目: 文化会館費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	計画
14	豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	3.施設等整備事業
事業の目的	・地域文化の拠点となるよう、文化会館の設備・施設更新を行う ・利用者が安心・安全に施設を使用できるように設備・施設を年次的に更新する。			
事業の実施内容等	(1)文化会館の各設備・施設更新事業 ・舞台/音響/照明/電気/空調/消防/建築設備、建築物関係、その他の設備・施設を年次的に更新する。 27年度は下記のとおり実施した。 ①【ジュビター】ピアノ(スタインウェイ、ヤマハ)オーバーホール ②【ジュビター】研修室・楽屋Ⅲ 照明器具取替修繕 ③【ジュビター・小】舞台諸幕取替工事			

2.事業費等(単位:円)

節区分		平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
事業費内訳	11.需用費	5,845,145	Jピアノ2台オーバーホール、照明器具取替	7,506,000
	13.委託料	0	LED化にかかる設計監理委託(H26)	928,800
	15.工事費	3,456,000	ジュビターホールリハーサル室諸幕取替工事	10,096,300
	合計	9,301,145		18,531,100
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			4,175,000
	一般財源	9,301,145		14,356,100
	合計	9,301,145		18,531,100
	国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
11.需用費		4,389,945	12,896,310	7,506,000	5,845,145
13.委託料		0	0	928,800	0
15.工事費		0	0	10,096,300	3,456,000
事業費計		4,389,945	12,896,310	18,531,100	9,301,145
【4】正規職員人件費		2,132,000	2,188,000	1,161,000	1,550,000
【5】臨時職員人件費		0	0	0	0
【6】総合計		6,521,945	15,084,310	19,692,100	10,851,145
特	【7】国庫支出金	0	0	0	0
定	【8】県支出金	0	0	0	0
財	【9】地方債	0	0	0	0
源	【10】その他	0	0	4,175,000	0
内	【11】一般財源	6,521,945	15,084,310	15,517,100	10,851,145
訳	【12】合 計	6,521,945	15,084,310	19,692,100	10,851,145
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
大規模修繕費	円	4,389,945	12,896,310	18,531,100	9,301,145
<変化の理由> 工事・修繕の規模や内容により異なるため					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
大規模修繕回数	回	4	3	2	4
<変化の理由> H24...【ジュビター】調光部品交換、【ジュビター・小】調整室エアコン修繕、【メイン】控室等エアコン更新、非常用発電機取替(H25経費) H25...【ジュビター・大・小】舞台吊物改善、【ジュビター・大】EVマイク修繕、自家発電機/バッテリー用給電取替 H26...【ジュビター・小】舞台吊物制御盤等改修、【ジュビター】LED照明器具取替工事・設計監理委託 H27...【ジュビター】ピアノオーバーホール(2台)、研修室等照明器具取替、【ジュビター・小】舞台諸幕取替工事					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
大規模修繕回数	1,630,486	5,028,103	9,846,050	2,712,786
<変化の理由及びそれへの対応策> 工事・修繕の内容が年度ごとに違い、計画して進めているため、突発的なものではない。 計画的に修繕をすすめて安全管理・利用品質向上を図っていく。				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	安全に、またトラブルがなく安心して使用できる施設。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	近隣市町のみならず、全国的にどのホールも経年劣化の問題は起こっており、安全に長寿命化させるためには大規模改修が必要(近隣では豊岡市が一昨年に実施している)
[3]代替サービスの有無	改修中の使用はできないため、小規模であれば市内他館での開催も可能である。民間の代替サービスはなし。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		地域文化の拠点施設として、安全に、かつ安心して市民が利用できるように施設・設備の整備を、計画的に継続的に行っていく必要がある。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3		利用者が安全に安心して利用できるよう、施設・設備等の整備を計画的に行う必要がある。しかしながら、市内のホール3施設については、建築から20数年経過し、老朽化が進んでいる。安全を最優先にし、計画を進める必要があるが、大規模修繕(リニューアル)も考慮していく必要がある。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	公共施設の再配置を含めて検討する必要がある。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	美術館企画展事業	担当部課	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 07 - 200 - 01		
款: 教育費	項: 社会教育費	目: 美術館費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	計画
	14 豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民はもちろん市民以外も対象として、芸術性の高い展覧会を開催し、芸術の鑑賞や芸術体験、芸術に触れる機会をつくる。 より多くの人に芸術の森美術館を訪ねていただき、市の芸術文化を振興を図るため、企画展を実施する。			
事業の実施内容等	美術館の設置趣旨をできるだけ広く解釈し、住民ニーズに適合したより集客力の高い企画展を実施する。 淀井作品の常設展示のほかに、2階企画展示室および1階アトリエ室で行っている企画展を開催するための、作品借り上げ、展示及び撤去、PR用ポスター・チラシ作成、チラシ折り込み、作品借用返却などを実施する。  (27年度展覧会) ・兵庫県写真作家協会 あさご巡回展 ・神戸ゆかりの美術館所蔵作品展 ・朝来市制10周年・阪神淡路大震災20年「平山郁夫展 平和を願う」 ・没後10年淀井敏夫展 ・アート干支展2016 ・兵庫県美術家同盟70周年記念展			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
8.報償費	30,000	没後10年淀井敏夫展ギャラリートーク講師謝礼	0	
9.旅費	102,640	作品借用返却等の職員旅費	265,880	
11.需用費	1,358,437	チラシ・ポスター・図録等印刷、看板作成等	1,781,196	
12.役務費	376,437	チラシ等送料、新聞折込料、作品保険料等	382,709	
13.委託料	6,808,400	作品搬送展示撤去業務委託料	6,388,679	
合計	8,675,914		8,818,464	
財源内訳	国庫支出金			
	特定財源			
	県支出金	2,500,000	電源立地地域対策交付金	1,792,000
	地方債			
	その他	2,551,650	美術館入館料	3,271,350
一般財源	3,624,264		3,755,114	
合計	8,675,914		8,818,464	
国庫支出金を除いた比率			71.18%	

美術館企画展事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	ギャラリートーク等講師謝礼	0	0	0	30,000
9.旅費	作品借用返却等の職員旅費	333,510	266,420	265,880	102,640
11.需用費	チラシ・ポスター・図録等印刷、看板作成等	1,348,021	1,233,616	1,781,196	1,358,437
12.役務費	チラシ等送料、新聞折込料、作品保険料等	910,575	953,932	382,709	376,437
13.委託料	作品搬送展示撤去業務委託料	4,755,450	3,878,500	6,388,679	6,808,400
14.使用料及び賃借料	展示作品借用料	600,200	1,385,000	0	0
事業費計		7,947,756	7,717,468	8,818,464	8,675,914
[4]正規職員人件費		3,737,000	3,503,000	4,207,000	3,722,000
[5]臨時職員人件費		2,626,000	3,481,000	2,811,000	2,492,000
[6]総合計		14,310,756	14,701,468	15,836,464	14,889,914
財源内訳	特定財源				
	[7]国庫支出金			0	0
	[8]県支出金			1,792,000	2,500,000
	[9]地方債			0	0
	[10]その他			3,271,350	2,551,650
[11]一般財源		14,310,756	14,701,468	10,773,114	9,838,264
[12]合計		14,310,756	14,701,468	15,836,464	14,889,914
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	79.68%	71.18%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
企画展開催回数	回	15	15	13	12
<変化の理由> 展示会期の長短によって回数の増減がある。 また1階と2階で別々の展覧会を行う場合と1つの展覧会で全館を使用する場合があるが、平成27年度は3回の企画展で全館を使用したため、その分回数が減っている。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
企画展入館者数(延べ人数) ※入館者数がダブルカウントとなる場合あり	人	21,894	25,837	21,534	13,715
<変化の理由> 平成27年度は企画展の回数が少ないこと、集客力のある展覧会が例年に比べて少なかったため、入館者数が減少している。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
企画展入館者数(延べ人数)※入館者数がダブルカウントとなる	654	569	735	1,086
<変化の理由及びそれへの対応策> 入館者数の減により、コストが増加した。				

美術館企画展事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	H27市民アンケート/ 芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:35.6% この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:30.1%
[2]近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	
[3]代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	芸術文化に親しむ機会を充実させるために、継続的な事業実施が望ましい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	全ての市民を対象に、芸術文化に親しみ、心豊かな生活ができるように、継続的な事業実施が必要である。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	市民に親しまれる美術館となるよう内容の検討をすること。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	美術館美術活動支援事業	担当部署	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 07 - 201 - 01		
※: 教育費	項: 社会教育費	目: 美術館費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	計画
14	豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民はもちろん、市民以外も対象として、絵画や陶芸などの各種講座、子供向けのワークショップや美術館に気軽に足を運べるイベントなどを開催し、質の高い芸術に触れる機会を提供するため、支援事業を実施する。 フランス・バルビゾン市との交流事業・国際交流事業を推進する。			
事業の実施内容等	美術館の設置趣旨をできるだけ広く解釈し、住民ニーズに適合した芸術文化イベントや、美術館ゆかりの作家やコレクション作品などの展示を行う。 (27年度の講座・イベント等) ・ギャラリートークなど企画展にあわせた講座 年2回(ゴールデンウィーク・夏) ・芸術村とフリーマーケット 年1回 (5月) ・チャイルドアートキャンプ 年4回 (春・夏2回・秋) ・アートフェスティバル 年1回 (夏、アートDE遊ぼうなど) ・絵画および陶芸教室 それぞれ年12回 ・ミュージアムコンサート 年1回 (クリスマスコンサート) (支援展など) ・大賞展受賞作家展 年2回 ・地元や若手等芸術発表活動支援 年3回 (写真展・コレクション展・グループ展など) フランス・バルビゾン市との交流事業・国際交流事業を推進するため、新しいバルビゾン市長との連絡調整。			

2. 事業費等(単位:円)

区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	890,000	芸術講座等講師謝礼・イベント出演謝礼	842,500
9.旅費	319,720	講師旅費	491,190
11.需用費	1,033,570	アクリル絵具等印刷、イベント用消耗品、講座材料費等	1,342,004
12.役務費	457,833	チラシ等送料、参加者保険、新聞折込料等	347,578
13.委託料	320,000	イベント駐車場警備、展示委託料	4,471,000
14.材料及び賃借料	538,800	イベントテント、音響照明等借上料	3,072,615
合計	3,559,923		10,566,887
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	1,559,000
		地方債	
		その他	188,800
	一般財源	1,812,123	事業参加料
合計	3,559,923		10,566,887
国庫支出金を除いた比率	56.21%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	芸術講座等講師謝礼・イベント出演謝礼	972,000	1,042,500	842,500	890,000
9.旅費	講師旅費、H24渡仏旅費	1,644,920	413,100	491,190	319,720
11.需用費	アクリル絵具等印刷、イベント用消耗品、講座材料費等	1,643,873	1,588,124	1,342,004	1,033,570
12.役務費	チラシ等送料、参加者保険、新聞折込料等	696,735	494,062	347,578	457,833
13.委託料	イベント駐車場警備、コンサート等業務委託料	7,013,500	4,965,422	4,471,000	320,000
14.材料及び賃借料	イベントテント、音響照明等借上料	3,981,452	2,622,861	3,072,615	538,800
事業費計		15,952,480	11,126,069	10,566,887	3,559,923
【4】正規職員人件費		3,620,000	3,466,000	3,651,000	3,533,000
【5】臨時職員人件費		2,232,000	2,945,000	2,543,000	2,337,000
【6】総合計		21,804,480	17,537,069	16,760,887	9,429,923
財源内訳	特 定 財 源				
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金	5,000,000	8,000,000	6,000,000	1,559,000
	【9】地方債			0	0
	【10】その他	3,512,500	1,495,750	1,371,250	188,800
	【11】一般財源	13,291,980	8,041,319	9,389,637	7,682,123
【12】合 計	21,804,480	17,537,069	16,760,887	9,429,923	
【13】国庫支出金を除いた比率		68.66%	28.10%	43.22%	56.21%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
講座開催回数	回	48	46	33	33
イベント開催回数	回	3	6	7	4
<変化の理由> 講座の種類が減少している。また展覧会の内容に合わせてギャラリートークやコンサートなどのイベントをしたりしなかったりするため、年度によって開催回数が増える。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
各種講座参加者数	人	1010	770	485	370
イベント参加者数	人	2186	1962	4880	3056
<変化の理由> 講座の開催日減とともに参加者数も減っている。イベントについては、その内容によって参加者数が増えている。H26年度は新長田アートプロジェクトでのワークショップ参加者数3000人を、またH27年度は神戸ビエンナーレでのワークショップ参加者数1123人をカウントしたため増加した。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
各種講座参加者数	21,589	22,775	34,559	25,486
<変化の理由及びそれへの対応策> H24年度は交流先のフランス・バルビゾンへの渡航経費が生じたため、コストが上がっている。H25年度は他に比べてイベント参加者が少ないため、コストが上がっている。				

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	H27市民アンケート/ 芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:35.6% この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:30.1%
【2】近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	
【3】代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		気軽に足を運べる身近な美術館であり、また質の高い芸術に触れる機会を提供するために必要な事業であるため、継続的な実施が望ましい。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		幅広い年代の市民が、芸術文化に親しむ機会を提供し、感性をみがき、心豊かに生活できるよう、継続的な実施が必要。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	参加者の増加にむけて親しみやすい事業内容にすること。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	美術館公募展事業	担当部課	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10-05-07-202-01		
款:教育費	項:社会教育費	目:美術館費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
14	豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民はもちろん、市民以外も対象として、芸術に携わる方々が目標とし、また現在活理中の方のみならず、これから美術界で新しいポジションを得ていく人たちをも応援し、新しい作家を育てる役割を担うため、公募展を実施する。			
事業の実施内容等	<p>あさご芸術の森およびあさご芸術の森美術館を会場とした公募展の開催と、優秀作品の展覧会を行い、優秀な作品や作家を顕彰するとともに、地元および作家同士の交流をはかり、情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさごアートコンペティション 園内作品展と野外彫刻展を1年交代で行っているが、27年度は野外彫刻展を行った。作品は模型で募集。優秀作品展を美術館で開催するとともに、大賞作品は実物大で制作委託し野外に設置した。</li> <li>・全国こども絵画選抜展 全国の小中学生を対象にした公募展で、テーマが「花と緑」「ふるさと」として募集。県内学校への要項配布および優秀作品展について、財)兵庫県学校厚生会と共催。優秀作品展は、美術館のほか、生野メインホール・神戸の学校厚生会の展示場「アートホール神戸」でも実施。</li> <li>・期来市市展「朝展」 絵画・立体・書・写真の4部門での全国公募展。審査後の優秀作品展を美術館で開催。</li> </ul>			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
7.賃金	0	監視アルバイト賃金	0
8.報償費	3,288,103	審査員謝金、入賞・入選者賞金	3,399,425
9.旅費	249,780	審査員旅費、職員旅費	166,500
11.需用費	1,957,359	看板等消耗品、募集要項・チラシ印刷代等	1,913,904
12.役務費	1,036,142	チラシ等郵送料、新聞折込料、広告掲載料、作品保険料等	991,848
13.委託料	409,860	作品搬送展示撤去委託料	1,017,360
14.使用料及び賃借料	47,520	審査用資材借上料	0
合計	6,988,764		7,489,037
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	402,500
	一般財源	6,586,264	6,742,037
合計	6,988,764		7,489,037
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
7.賃金	監視アルバイト賃金	0	0	0	0
8.報償費	審査員謝金、入賞・入選者賞金	3,224,549	3,390,256	3,399,425	3,288,103
9.旅費	審査員旅費、職員旅費	363,120	374,270	166,500	249,780
11.需用費	看板等消耗品、募集要項・チラシ印刷代等	1,765,023	1,891,017	1,913,904	1,957,359
12.役務費	チラシ等郵送料、新聞折込料、広告料、作品保険料等	1,178,950	959,862	991,848	1,036,142
13.委託料	作品搬送展示撤去委託料	1,219,890	465,255	1,017,360	409,860
14.使用料及び賃借料	審査用資材借上料	0	67,750	0	47,520
事業費計		7,751,532	7,148,410	7,489,037	6,988,764
【4】正規職員人件費		3,620,000	3,395,000	3,651,000	3,533,000
【5】臨時職員人件費		1,707,000	2,409,000	2,141,000	2,337,000
【6】総合計		13,078,532	12,952,410	13,281,037	12,858,764
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他	830,000		747,000	402,500
【11】一般財源		12,248,532	12,952,410	12,534,037	12,456,264
【12】合計		13,078,532	12,952,410	13,281,037	12,858,764
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
公募展の実施数	回	3	3	3	3

<変化の理由>

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
公募展参加者数	人	2729	2773	2610	2216
公募展出品点数	点	2737	2779	2614	2218

<変化の理由>

子どもの絵画については、募集要項発送先を毎年変えており、年によって応募点数が変化している。彫刻作家人口が増ってきている。また全国的に公募展の数が少なく、出品意欲が低調になっている。但し、応募点数は減っているものの、質の向上はみられる。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
公募展参加者数	4,792	4,671	5,089	5,803

<変化の理由及びそれへの対応策>  
年々、出品点数が増ってきているため、コストが増加してきている。

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	H27市民アンケート/ 芸術文化に親しむ機会や場面の提供が充実していると感じる市民の割合:35.8% この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:90.1%
【2】近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	
【3】代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	朝来市が次代を担う作家を育てるなど、芸術という切り口で独自の取り組みを行っているものであり、全国に情報発信することで朝来のイメージアップにも大いに貢献しているため、継続して実施することが望ましい。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	次代を担う子供たちや作家・市民が、芸術を制作することにより、より感性の優れた人材を育成することができる。また、全国に発信することにより、朝来市の情報を発信することができ、継続して実施することが必要。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	市民に親しまれる事業とすること。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	美術館作品収集事業	担当部課	市民文化部 芸術文化課
予算コード	10 - 05 - 07 - 203 - 01		
政: 教育費	項: 社会教育費	目: 美術館費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ《社会減抑制》	事業開始年度	評価区分	計画
	14 豊かな心を育む文化芸術の振興	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、コレクションを充実させる。			
事業の実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淀井敏夫作品原型の収蔵保管</li> <li>・公募展覧会作品の収蔵</li> <li>・淀井作品や野外彫刻作品を含む収蔵作品の修繕管理</li> <li>・あさごアートコンペティション大賞受賞作品の野外設置</li> </ul>			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
	9.旅費		
11.需用費	0	収蔵庫改修費	570,240
12.役務費	0	収蔵作品保険料	297,000
13.委託料	3,380,800	収蔵作品修繕委託料、野外公募作品制作・設置委託料	146,880
14.使用料及び賃借料	0	高所作業車借上料	52,999
15.工事費	620,000	収蔵作品設置工事、野外公募作品設置基礎工事	0
			0
合計	4,051,800		1,163,399
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	
	一般財源	4,051,800	1,163,399
	合計	4,051,800	1,163,399
	国庫支出金を除いた比率	100.00%	

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
9.旅費	作品調査等旅費	63,020	108,140	96,280	51,000
11.需用費	収蔵庫改修費	0	0	570,240	0
12.役務費	収蔵作品保険料	0	0	297,000	0
13.委託料	作品搬送・作品修繕・作品制作・設置委託等	367,500	3,168,000	146,880	3,380,800
14.使用料及び賃借料	高所作業車借上料	0	0	52,999	0
15.工事費	収蔵作品設置工事、公募作品設置基礎工事	420,000	525,000	0	620,000
16.備品購入費	公募展作品等買上料	231,870	0	0	0
事業費計		1,082,390	3,801,140	1,163,399	4,051,800
【4】正規職員人件費		697,000	564,000	1,091,000	854,000
【5】臨時職員人件費		525,000	750,000	750,000	182,000
【6】総合計		2,304,390	5,115,140	3,004,399	5,087,800
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他	800,000		0	0
	【11】一般財源	1,504,390	5,115,140	3,004,399	5,087,800
	【12】合計	2,304,390	5,115,140	3,004,399	5,087,800
	【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
コレクションの増加数	点	121	2	8	8

<変化の理由>  
平成24年度は、藤原吉志子さんのご遺族から115点の作品の寄贈を受けたため、コレクション数が大幅に増えている。

【2】事業の成果を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
総コレクション数	点	908	910	918	926

<変化の理由>  
公募展による作品の追加や、朝来市に縁のある作家等などからの寄贈申し出を受けて、徐々にコレクションが増えている。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
総コレクション数	2,538	5,621	3,273	5,494

<変化の理由及びそれへの対応策>  
25年度、26年度は野外彫刻の公募を行って作品を収集、設置したため、コストが増加している。

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	H27市民アンケート/ 芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合:35.6% この1年間に、市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合:30.1%
[2]近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	
[3]代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		美術館コレクションの充実、収蔵作品の適正な管理、野外彫刻設置による魅力ある空間を創出するために必要である。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	1		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		美術館は、淀井敏夫記念館でもあり、淀井の作品を中心に作品を収蔵している。また、朝来市にゆかりのある作家の作品等も収蔵しており、それらの収蔵作品の適切な管理や野外に設置している彫刻等の管理を適切に行い、市民の憩いの場としての提供をするため、継続して実施することが必要である。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	継続実施とするが、事業内容について見直しが必要な時期がきている。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	